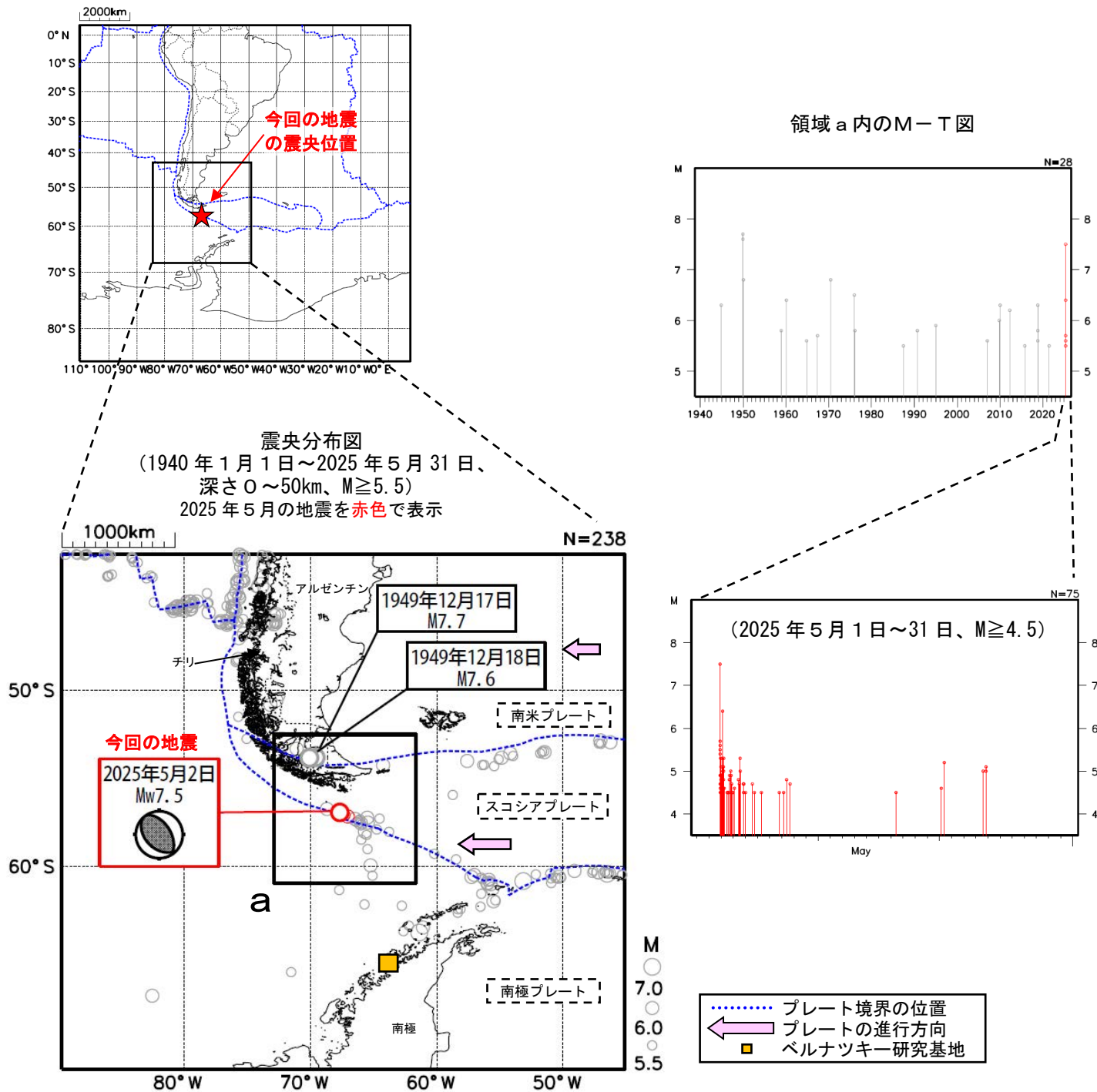


5月2日 ドレーク海峡の地震

2025年5月2日21時58分（日本時間、以下同じ）にドレーク海峡でMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構解（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、スコシアプレートと南極プレートの境界付近で発生した。気象庁は、この地震について同日22時27分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、ベルナツキー研究基地（ガリンデス島）で0.14mの津波を観測した。

1940年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM6以上の地震が時々発生している。1949年12月17日にはM7.7の地震が発生し、その約8時間後にはほぼ同じ場所でM7.6の地震が発生した。これらの地震により、死者4名などの被害が生じた。



※震源要素は、2020年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 11(1904-2020)、2021年以降は米国地質調査所（USGS）による（2025年6月1日現在）。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwは気象庁による。津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2025年6月1日現在）。被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird(2003)*1より引用。

*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.